

第3回検討会議事概要

日時：令和7年4月10日(木) 10:00～12:00

開催場所：デジタル庁 20階庁議室

開催方法：対面＋オンライン会議（teams）

出席者：委員名簿別紙

議事：第2回検討会を踏まえた検討状況について

事務局より4つの検討項目（①業務の共通化、②情報整備・管理の標準化、③DX技術実装、④現状可視化）の概要を説明し、各委員より、各団体でのDX等の事例や本検討会での取組を通じて目指していきたい事項等について意見交換が行われた。主なやりとりは以下のとおり。

（1）業務の共通化

- 管路情報は個人情報にはあたらないが情報セキュリティが関係し、考え方が必要。
- 手引きを確認しながら共同発注の取組のイメージを検討できるようにしてほしい。
- 手引には、導入にあたって苦労した点、課題として残った点を記載してほしい。
- 導入事例における評価などを示してほしい。

（2）情報整備・管理の標準化

- プラットフォームを拡げていくなかで、データの形式も留意して欲しい。
- スマホやタブレットでの閲覧を見据えて検討を進めて欲しい。
- 標準仕様に変えていくことを、今後どのように実現していくかの方向性を示してほしい。
- 災害時に必要となる最低限必要な項目について検討してほしい。

（3）DX技術実装（上下水道DX技術カタログ）

- 新技術だけでなく、既存技術のアップデート等の更新情報も分かり易く掲載してほしい。
- カタログは分かり易く整理されていて活用し易いため、業務の効率化に繋がっていると感じている。導入自治体の事例を特に更新していただきたい。
- カタログの更新頻度を定め、公募方法について検討してほしい。

（4）現状可視化

- ダッシュボードの付加価値や目的を整理してほしい。
- 例えば「職員1人当たりの管路延長」など見せ方を検討してほしい。

（5）その他

- 標準仕様のデータがあれば災害時において、他自治体がそれを活用して支援できることを伝えほしい。
- 3年以内の標準実装とはどのような意味合いなのか具体化でほしい。
- 中小自治体の取組が進むように支援策等を示してほしい。